



岩瀬 計介 議員

問 安心・安全なまちづくりについて

答 防犯カメラも視野に対策を強化

防犯カメラの設置を

問 町内主要な箇所、駅前・役場周辺・駐輪場などに防犯カメラの設置を。

答 総務部長 町内駐輪場周辺への設置を検討する。公共施設は、設置も視野に対策強化を検討する。

問 2中学校に設置されているが、効果は出ているのか。

答 教育部長 複数回、校内侵入者を撮影していたが、不審人物の特定に至ったことはない。

問 カメラ設置によるプライバシー保護は。

答 総務部長 駐輪場は要綱がある。プライバシー保護には、統一した設置・運用に関する要綱を定める。

安心・安全の強化を

問 防犯灯のさらなる設置を各区へ働きかけを。

答 総務部長 町内には約2700灯あり、6割がLED灯である。区との相互協力により、充実を図っていく。

問 公用車へのドライブレコーダー搭載を。

答 町長 全車にドライブレコーダーを搭載する方針で、来年度予算に計上予定。



■名鉄知多武豊駅の防犯カメラ

問 要件を満たした方 全員を委員に

答 充て職と個人のバランスを考慮

町民の意見を反映させるための行政改革推進委員の選定や、委員から出された提言・意見の反映は、行革プランを作るうえで、とても重要と考える。

提言が盛り込まれたアクションプラン

問 行革推進委員の公募については800字以内で、応募の動機や、町に対する自分の思いを提出していただき、委員にふさわしい方を選定しているようである。手を挙げて公募要件を満たした方は、町に対する思いがあるので、全員を委員にしたらどうか。

答 総務部長 効率よく会議を進めるうえで、多くの町民が関わる団体の代表委員とのバランスを考慮し、公募による委員は、5人が適切であると考えている。

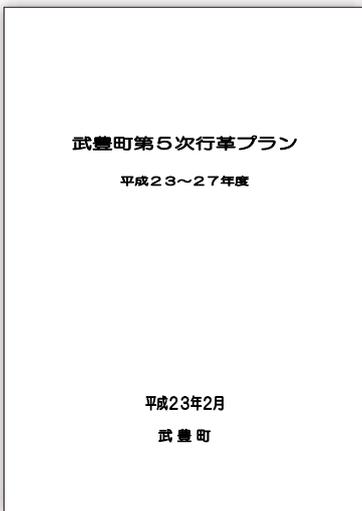
問 行革推進委員の提言・意見は、どのように行政運営に織り込まれているのか。また、どのように対応しているのか。

答 町長 当該委員会から提言を受けた事項については、情報の共有化を図るため、庁内LANを通じて全職員に発信をしている。

内容に応じて、幹部会や各所管などで、どのように進め、業務に活用できるかを考え改善している。



南 賢治 議員



■行革プラン



青木 宏和 議員

問 中央公民館の今後の方向性は

答 地域の絆づくりの拠点を目指す

指定管理制度の導入も検討

問 指定管理者に業務委託することも検討されていると思うが、進捗状況は。

答 教育部長 現在、施設の抱える問題点や、指定管理者制度の導入を含む管理運営方法のメリット・デメリット、指定管理を受託できる事業者の想定などをまとめています。

今後、各方法での比較・評価を行い、本年度内には方向性を出したいと考えています。

問 現在、検討している指定管理者は。

答 教育部長 夜間の受付業務をお願いしているシルバー人材センターや、さまざまな事業を町と行っている社会福祉協議会、また、民間の会社も考えられる。

地域の絆づくりの拠点

問 中央公民館をどのような施設にしていくか。

答 町長 将来、社会教育施設としての利用推進を図るだけでなく、地域活動、福祉活動、ボランティア活動など、新たな地域の絆づくりの拠点としての位置付けがどうか検討していく。



■武豊町立中央公民館

問 臨海部に大気環境測定局の設置を

答 大規模事業供用開始に合わせ考える



梶田 進 議員

大足地区に環境測定局の必要性は

問 町内臨海部では、多くの事業所で設備の新増設計画があり、今後、公害の発生源となりうる。また、これまでの事業所に資材などを運搬するため、交通量も多くなることが予想される。大足地区の方から「大気環境測定局」の新設が求められている。環境測定局新設について、どのように考えているか。



■ごみ焼却施設建設予定地より地域交流施設方面

答 町長 大気測定局での測定は、住民の健康、生活環境保全のため、大気汚染防止対策、安心、安全な生活環境を維持するうえで重要である。今後、臨海部での大規模事業の供用開始時に合わせて、測定局の設置について調査・研究していく。

PM2.5など新たな項目を加えて

問 現在の測定局で測定している項目の他、近年問題となっている二酸化窒素・PM2.5など、新たな測定項目も加えた大気測定局の設置を求める。

答 環境課長 現在と同じ項目以外については、大規模事業が始まった時に、新たな測定項目を考慮し、一番重要な住民に安心、安全を発信できるようにしたい。

※他に「教育予算要望の実現を求める」の質問



本村 強 議員

問 防犯カメラの設置で安全・安心を

答 補助制度も含め、設置を検討

安全・安心のために

問 防犯カメラは、犯罪抑止などのために有効であるが、考えは。

答 **町長** 防犯パトロールや防犯灯などと同様に、防犯対策の一つとして検討する必要があると考えている。

問 現在、防犯カメラの設置台数は。

答 **総務部長** 名鉄知多武豊駅駐輪場に2台、武豊中学校に4台、富貴中学校に2台を設置している。

問 今後の設置予定は。

答 **総務部長** 平成27年度中に名鉄知多武豊駅に3台、平成28年度に名鉄富貴駅・上ヶ駅、JR武豊駅に2台ずつ設置を検討する。



■名鉄知多武豊駅の防犯カメラ

問 設置に対する補助の考えは。

答 **総務部長** 区、商工会の設置に対しての補助制度を検討している。

自転車事故の賠償額が高額化

問 小・中学生の自転車保険加入促進のため、安価な自家用車の任意保険特約制度の推進を。

答 **教育長** 現在、PTA関係の総合保障制度を紹介している。保険は大事なものと考えているので、機会をみて紹介していく。



甲斐 百合子 議員

問 ひきこもり相談事業の増設を

答 相談数や内容を考慮し、検討する

ひきこもり対策の充実を

問 ひきこもり相談事業を、月1回から週1回に増やし、相談しやすくしてはどうか。

答 **教育部長** 現在、社会福祉協議会に委託し、月に1回、1件1時間で3件の枠を設けている。相談者数や内容を考慮し、検討していく。

問 社会復帰支援のためにも、関係機関による協議会が必要ではないか。

答 **教育部長** 協議会設置については、関係者や関係機関の意見をつかいがいながら、検討していく。

コミュニティバス・乗合タクシーについて

問 10月1日にルート変更し、便利になったが、廃止になった地域や、運行のない地域の住民に対して、日中の説明会や啓発を行うてはどうか。

また、乗合タクシーの停留所を増設してはどうか。

答 **総務部長** 広報、説明会や出前講座などを継続して啓発に努める。

停留所の増設については、見直しの時期に、地域公共交通会議で検討していく。



■新しいコミュニティバス路線図・時刻表



櫻井 雅美 議員

問 町民会館の利用を見直しているか

答 見直しは行っていない

町民会館の利用者の意見を

問 開館から10年、他市町の動向を参考に利用の仕方の見直しは行っているか。

答 町民会館事務長 見直しは行っていない。

問 利用者にアンケートはとっているか。

答 町民会館事務長 まだとったことはない。

問 減免について、基準がわかりにくく、周知されていない。

ボランティア団体は、おもいやりセンターの部屋が借りられるようになった。また、教育委員会の減免利用は事業規模が見えにくい。減免制度を廃止し、ボランティアには補助金制度を設けてはどうか。

教育部長 減免の見直し

については、今年度検討している。年度内には見直しをたてたい。

町および教育委員会主催事業の減免についても、問題点の一つとして認識している。

答 町長 減免については、中央公民館、総合体育館など全体を精査したい。

補助金については、他の市町も参考に研究したい。

※他に「家庭教育の充実について」の質問。



■武豊町民会館

問 学校施設の長寿命化は

答 公共施設等総合管理計画で作成



青木 信哉 議員

学校施設の整備について

問 学校施設の整備計画はあるのか。

答 教育部長 担当課の中で、外壁改修工事・放送設備工事などを盛り込んだ整備計画を作成した。

これを基に実施プログラムや予算に反映している。

問 築45年を超える学校もあるが、知多武豊駅東区画整理事業など、大きな事業がある中、学校施設の大規模改修計画を作成する必要があると思うが。

答 教育部長 築年数が古いからではなく、施設の状態を見ながら優先順位を決めて改修していく。

答 総務部長 毎年、学校や学校教育課から多くの要望が出ていますが、命に係ることを優先して整備してきた。財政的な中長期計画を考へながら、平成27・28年度で「公共施設等総合管理計

画」の中で作成していく。

町長の学校訪問について

問 町長の学校訪問で、先生からどのような意見が出されたか。

答 教育部長 いろいろな意見や質問が出された。

特に、今年、全小学校の各教室に暖房器具を入れていただいたことに感謝の言葉があった。



■富貴小学校の南校舎



久野 勇 議員

問 いきいきと暮らせるまちとは

答 健康づくり、生きがいをづくり

マイレージ事業の 早期立ち上げを

問 健康づくり支援の取り組みは。

答 健康福祉部長 小・中学生、高齢者など、対象別に効果的な健康講座を実施している。

また、保健推進員、食生活改善推進員を養成し、健康づくりに向けたボランティア事業を進めている。
現在、健康マイレージ事業の実施に向け準備を進めている。

障がい者の生活支援体制は

問 障がい者の生活支援体制の具体的な取り組みとは。

答 健康福祉部長 住み慣れた地域で、自立生活ができるように、ホームヘルパー派遣・デイサービス・ショートステイなどの支援サービスや相談支援体制を整備している。

また、周囲の理解や支援

を求める手段として「ヘルプカード」を作成した。1月に配布し活用していく。

問 障がい者が自立し、社会参加できる環境づくりとは、どのような取り組みか。

答 健康福祉部長 就労を目的とする知識や、能力向上のために必要な訓練的支援を提供している。

また、能力や意欲に応じた生きがいを持つて働けるように、就労場所の提供をしている。

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード

武豊町

■ヘルプカード

そういえばあの答弁
どうなったのかな

Q&Aその後どうなった?



■特別養護老人ホーム「くすのきの里」

問 長い間、高齢者の憩いの場として親しまれてきた、老人福祉センターの代替機能はどのようになるのか?

答 特別養護老人ホーム「くすのきの里」に業務委託し、現在、建設中の地域交流スペース(仮称)で、平成28年4月より実施する予定である。

施設概要

多目的ホールA・B

集いの場(会話・お茶・食事など)

囲碁、将棋、カラオケなど

エントランスホール

喫茶コーナー
休憩展示コーナー
ヘルストロン(3台)

入浴施設

大浴室、小浴室

(入浴は1人1回
100円)